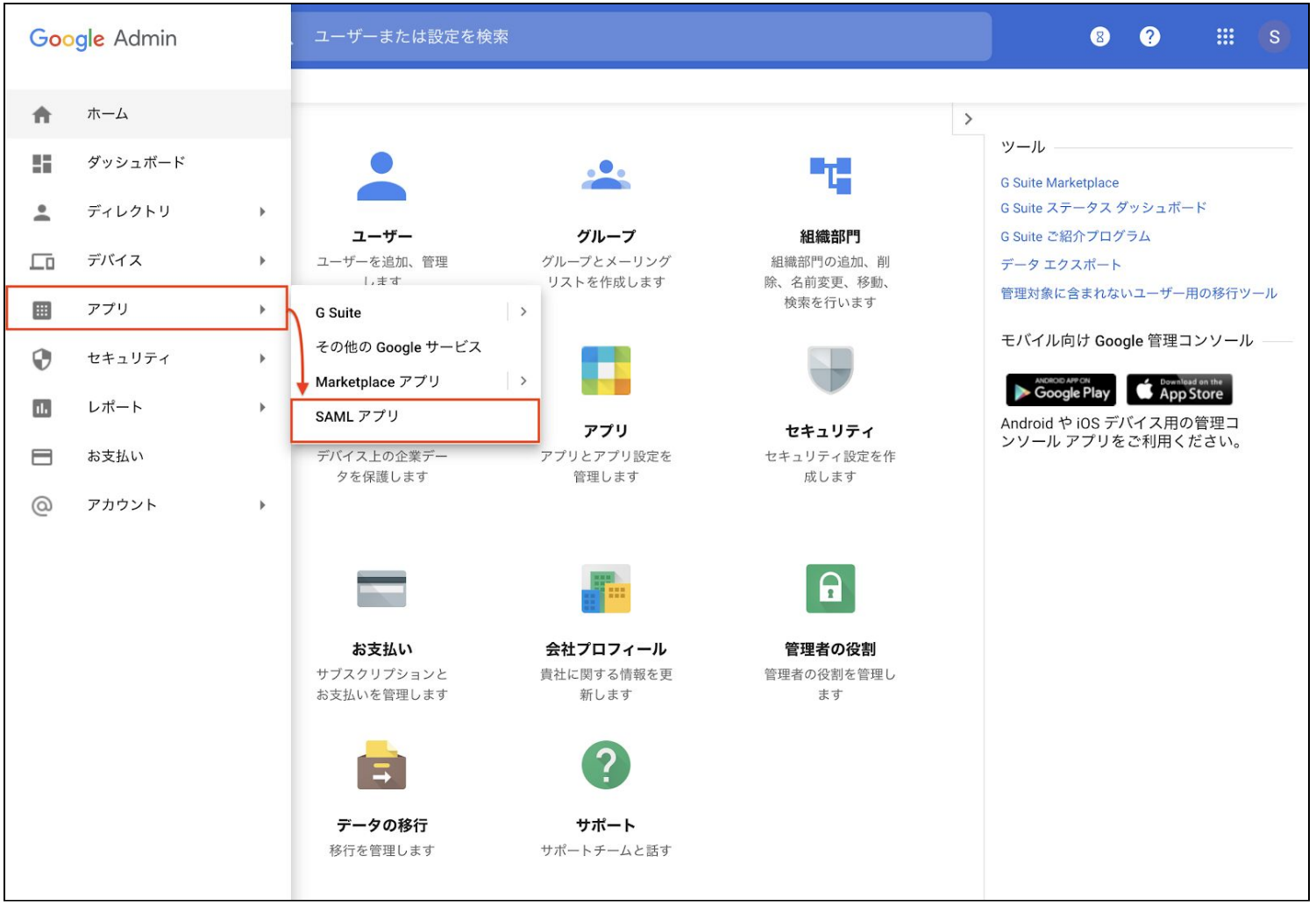
1 お客様のConnectWise Controlウェブサイトにて、管理者メニューのセキュリティページを開き、
右上にある「追加」メニューから「SAML」を選択します。



2　認証データベースの一覧にSAMLの項目が追加されますので、
右上にある「オプション」メニューから「有効」を選択します。



3 別のウィンドウで、G Suiteの管理コンソールを開き、
左にある「三」メニューから「SAMLアプリ」を選択します。



4　「サービスやアプリをドメインに追加」をクリックします。



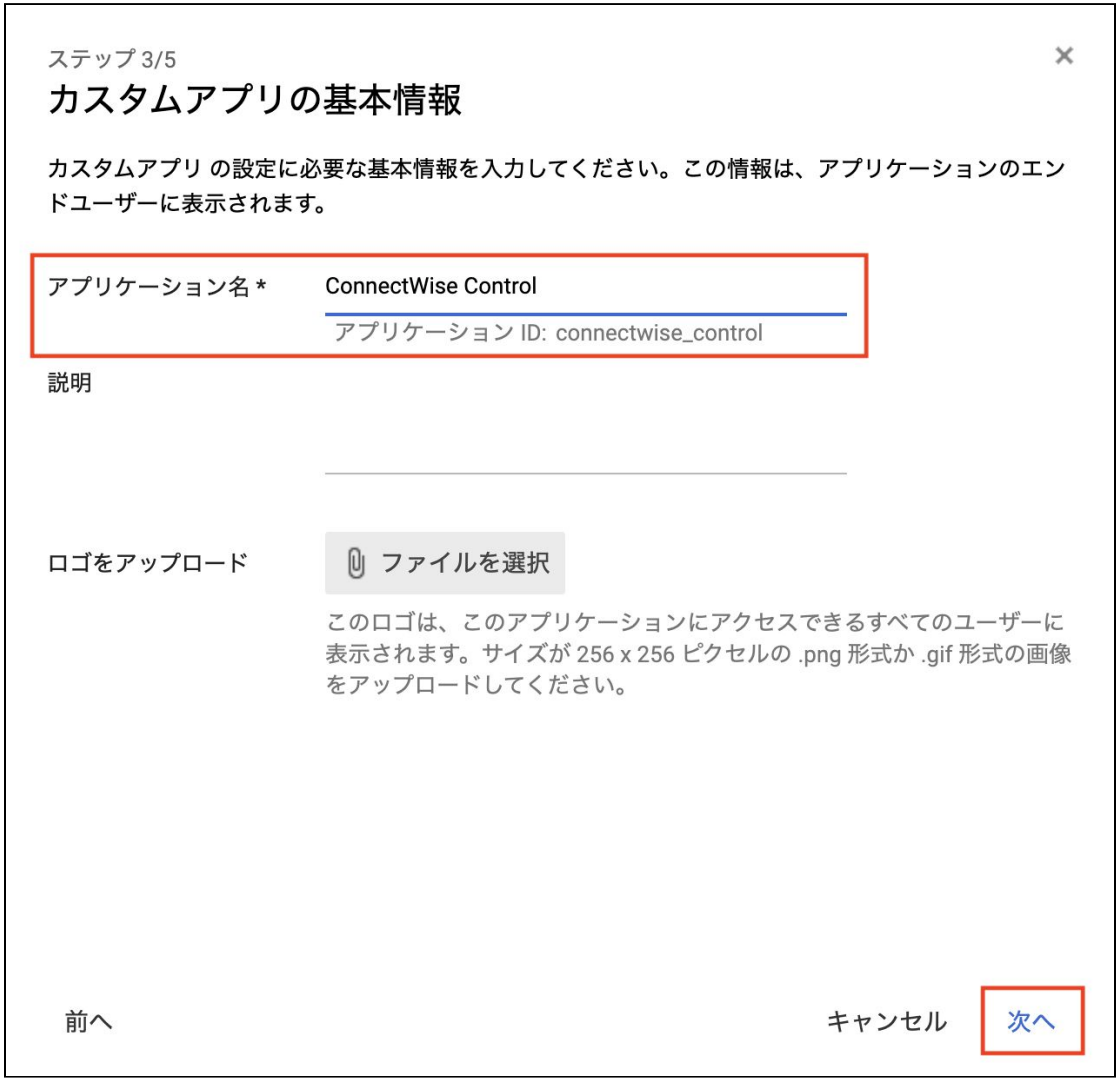
5　左下にある「カスタムアプリをセットアップ」をクリックします。



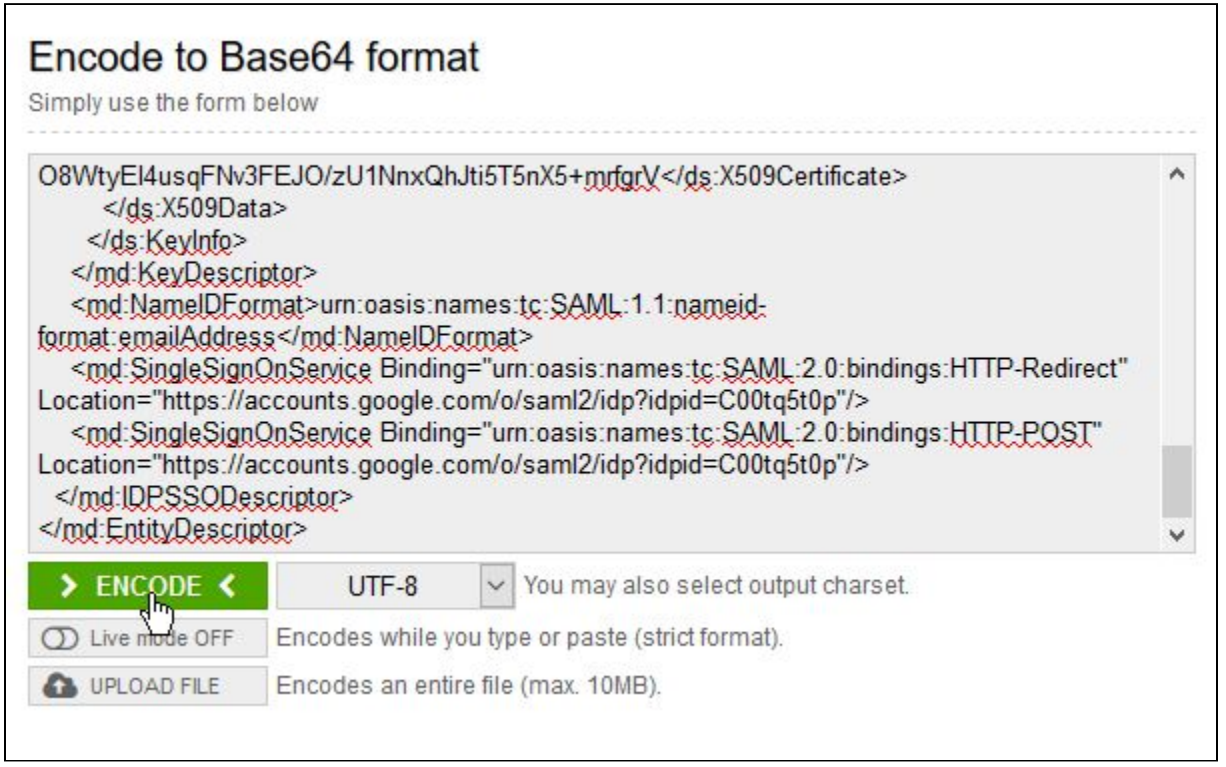
6　オプション２の「IDPメタデータ」をダウンロードし、「次へ」をクリックします。



7　「アプリケーション名」フィールドに「ConnectWise Control」と入力し、「次へ」をクリックします。



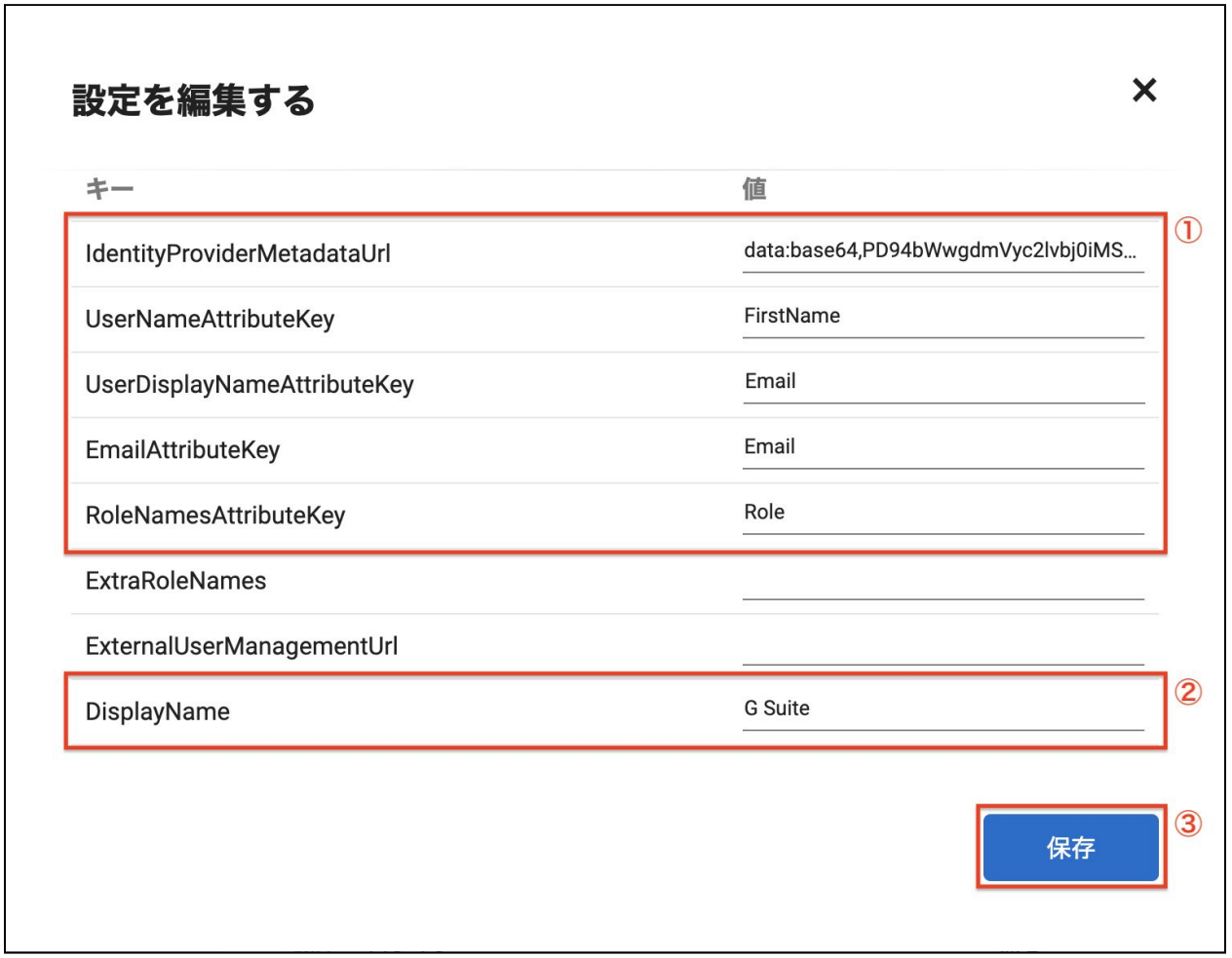
8 別のウィンドウで、「https://base64encode.org」を開きます。
IDPメタデータの内容をボックスに貼り付け、「Encode」をクリックし、出力をコピーします。



9　ConnectWise Controlのウェブサイトへ戻り、「オプション」メニューから「設定」を選択します。



１０　ウィンドウが立ち上がりますので、下図のように記入し、「保存」ボタンをクリックします。
「IdentityProviderMetadataUrl」フィールドには、「data:base64,」と入力し、
ステップ8でコピーした内容を貼り付けます。



１１　「オプション」メニューから「メタデータ生成」を選択します。



１２　下図のようなページが開きますので、「entityID」キーの値をコピーします。

```
<EntityDescriptor validUntil="2029-09-27T05:46:40.3756034Z" cacheDuration="P1D"
entityID="https://[redacted]/__Authentication/b0559996-4a59-4486-958e-f28c239d315b/Login"
xmlns="urn:oasis:names:tc:SAML:2.0:metadata">
  <SPSSODescriptor AuthnRequestsSigned="false" WantAssertionsSigned="true"
protocolSupportEnumeration="urn:oasis:names:tc:SAML:2.0:protocol">
    <KeyDescriptor>
      <KeyInfo xmlns="http://www.w3.org/2000/09/xmldsig#">
        <KeyValue>
          <RSAKeyValue>
```

１３　G Suiteの管理コンソールへ戻り、コピーした値を「ACSのURL」と「エンティティID」のフィールドに貼り付けます。そして、「署名付き応答」ボックスにチェックを入れ、「次へ」をクリックします。



１４　下図のようにマッピングを設定し、「完了」をクリックします。



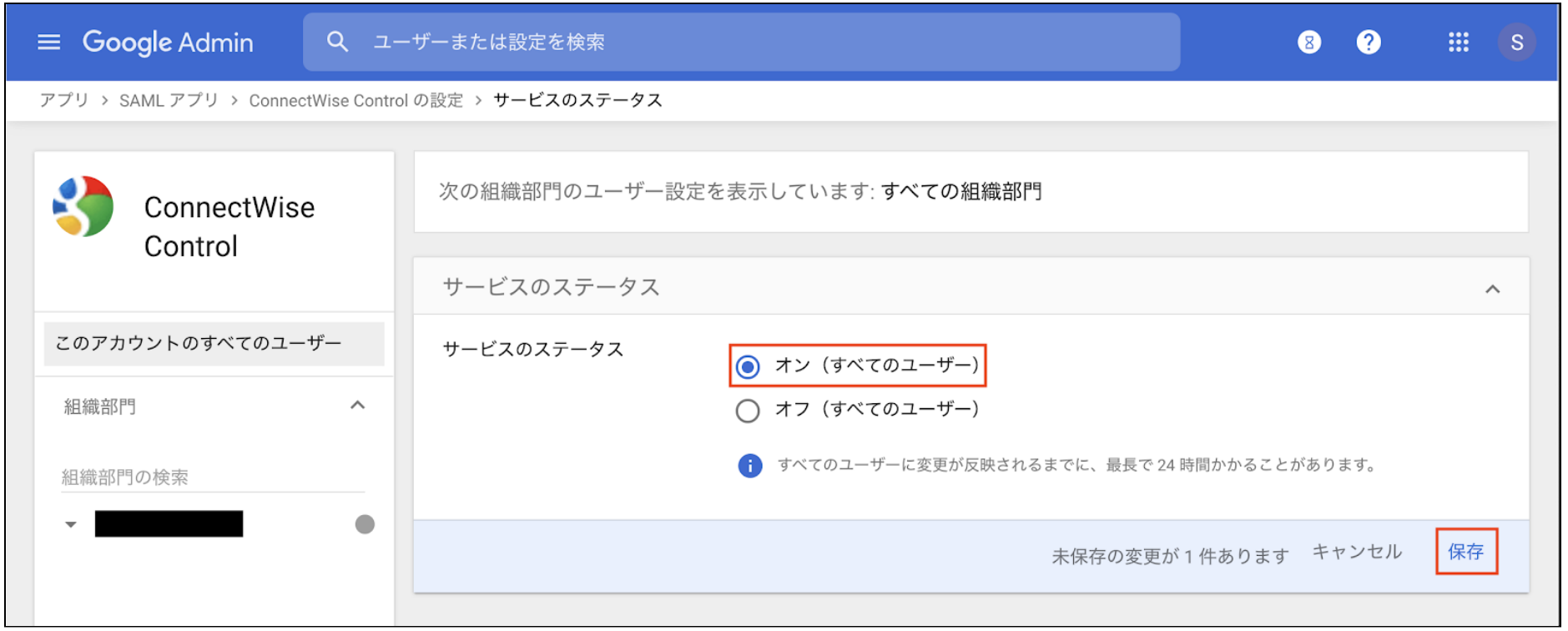
１５　最後に「OK」をクリックします。



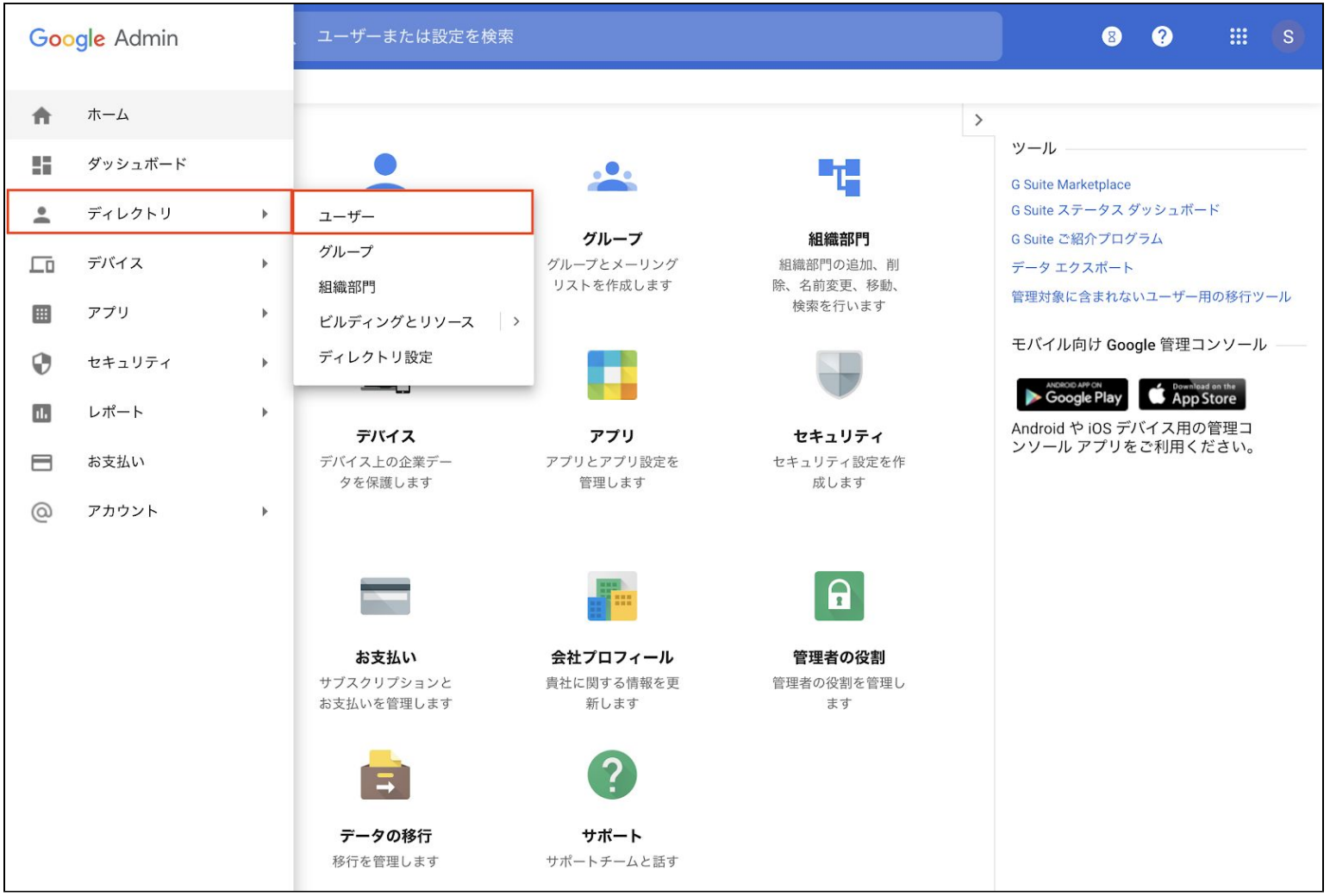
１６　右上にある「サービスを編集」をクリックします。



１７　サービスのステータスを「オン」に設定し、「保存」をクリックします。



１８　左にある「三」メニューから「ユーザー」を選択します。



１９　ConnectWise Controlに追加したいユーザーのページを開き、「ユーザーの詳細」をクリックします。



２０　このユーザーに与えるConnectWise Controlのロール（Administrator、Hostなど）を、従業員情報の「役職」として設定します。個別に設定するのではなく、G Suiteのユーザー全員に同じロールを与える場合は、ステップ10の設定画面で「ExtraRolesNames」にそのロール名を入力します。

